



宮崎大学教育文化学部  
附属小・中学校 特別支援学級



主催 宮崎大学教育文化学部附属小・中学校

後援 宮崎県教育委員会

宮崎県市町村教育委員会連合会

平成24年  
1月27日(金)



師走の候、ますます御清祥のこととお喜び申しあげます。  
本校特別支援学級では、平成19年度より研究テーマを「すべての個が生きる特別支援教育」とし、よりよい交流及び共同学習の推進について研究に取り組んでまいりました。

平成23年度は、小・中学校ともに「交流形態の違いが子どもの行動や意識に及ぼす影響」について研究を重ね、このたび公開研究会を開催し、その取組を発表いたします。

つきましては、貴管下・貴校職員の参加について御高配いただき、本校特別支援学級の研究について御指導・御批正くださいますよう、御案内申しあげます。

平成23年12月

宮崎大学教育文化学部

附属小学校長 佐藤 正二

附属中学校長 山田 利博

交流形態の違いが  
子どもたちの行動や意識に及ぼす影響

◇ 日程

8:00	9:00	9:45	10:00	10:45	11:00	11:45	12:45	14:05	14:20	15:50	16:00
受付	公開授業Ⅰ (小学校)	移動	公開授業Ⅱ (小・中学校)	移動	開会行事 研究発表	昼食	授業研究会 研究協議会	休息	講演会	閉会 行事	

◇ 公開授業Ⅰ 9:00～9:45

領域・教科	単元(題材名)	授業者(場所)	授業の内容
総合的な 学習の時間	人・人・人 共にくらす町を (未来に向かって)	大山 正子 (多目的室：小学校)	未来の町のミニドラマ作りをとおり、相手を尊重した態度や言葉かけについて学んだことを実践します。
生活単元 学習	どきどき わくわく おぼけたいじだ	須賀田和子 (いちよう1組：小学校)	交流及び共同学習を充実させるために、ゲームをと おして、人とのかかわり方について学習します。

◇ 公開授業Ⅱ 10:00～10:45

領域・教科	単元(題材名)	授業者(場所)	授業の内容
学級活動	よりよい交流を するために	重山 孝雄 (3年2組：小学校)	交流及び共同学習の充実に向けて、よりよい交流の 仕方を考えます。
生活単元 学習	ぼく(わたし)の本を 作ろう	押川あかね (3年E級：中学校)	中学校3年間の交流及び共同学習を振り返るとと もに、感じたことを自分の本としてまとめます。

◇ 開会行事・研究発表 11:00～11:45

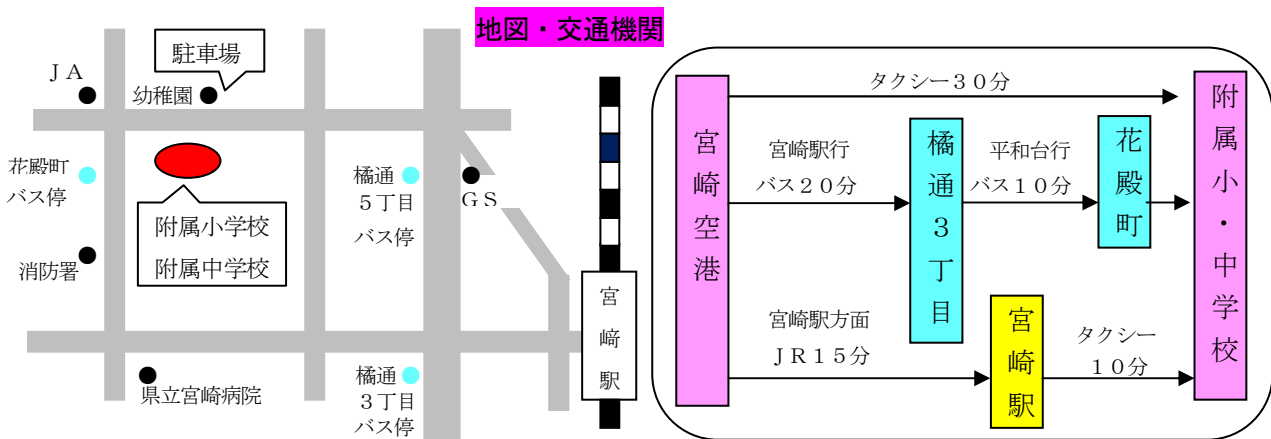
研究発表
小・中学校ともに「交流形態の違いが子どもの行動や意識に及ぼす影響」について研究に取り組みました。その取り組みの内容や特別支援学級、通常の学級双方の子どもの行動面、意識面での変容について発表いたします。

◇ 授業研究会・研究協議会 12:45～14:05

授業研究会	指導助言者
特別支援学級、通常の学級双方の子どもが力を発揮できる交流及び共同学習にするために、必要な学習内容や指導方法について話し合います。	宮崎県教育研修センター 指導主事 野田尚子 先生
研究協議会	
よりよい交流及び共同学習にするために、これまでの子どもの変容をもとに今後の交流及び共同学習の在り方について話し合います。	

◇ 講演会 14:20～15:50

<p>テーマ 「インクルーシブ教育システムの構築を視野にいれた合理的な配慮」 独立行政法人 国立特別支援教育総合研究所 企画部総括研究員 藤本裕人先生</p>
---



駐車場は附属幼稚園北側を用意しています。できるだけ、公共交通機関を御利用ください。